

# 農業



平成23年10月号

会誌 No. 1551

## 目次

### 巻頭言

農業現場で国際貢献する若者……………大杉 立 3

### 論 壇

大震災から半年：農業の思想をふりかえる……………田中 耕司 4

### 農業懇話会

日本の養蜂産業を展望する……………藤原 誠太 6

#### セイヨウミツバチの飼育

大規模農法ではミツバチが必須

セイヨウミツバチの生産効率は抜群

#### ニホンミツバチの飼育

ニホンミツバチの魅力

ニホンミツバチ用の巣箱を開発

質疑応答 …………… 20

### 現地セミナー

環境保全型農業及び有機農業の発展と技術的諸問題……………熊澤喜久雄 23

#### 環境保全型農業及び有機農業の発展経過

#### 環境保全型農業とは

農業に由来する環境への負荷とその低減

環境保全型農業、有機農業における課題

表彰農家訪問

Uターン・ふるさとに生きる……………小泉 浩郎 39  
- 島根県吉賀町 斎藤一栄ご夫妻を訪ねて -

農業・農村の現場から

自園の抹茶の味を世界に……………古谷 千絵 50  
- 京都府・和束町の茶農家の取り組みに見る農産物輸出の実際 -

世界の農業は今

エジプトの農業とナイル川, そして暮らし……………奥野 克己 55

統計情報

東日本大震災による農業被害のあった農業経営体の営農再開状況…………… 61

農政情報

…………… 62

大日本農会だより…………… 63

ミニ情報「供給熱量の構成の変化と品目別供給熱量自給率」…………… 22

「我が国は、アジアを中心に13の国や地域とEPAを締結・署名。

また豪州等と交渉中。」…………… 60

表紙写真説明

山里の秋（宮崎県宮崎市）

本会誌の表紙写真の多くは、「私の好きな日本の農村」と題する社団法人農村環境整備センター（現在、社団法人地域環境資源センター）のフォトコンテスト入賞・入選作品集から季節にあった写真をお借りしてきた。写真を題材にして、多くの場合、その地域の農業・特産品などを通じて紹介文をつくり、写真の解説をしてきたが、今回は、第5回フォトコンテストで金賞を受賞された落合正治氏の「山里の秋」を選んだ。撮影者は、「宮崎の農村に生きている人々を写し始めて10年、開発という名のもとに、急速に失われてゆく里山の姿と暮らしに、強い愛着を持つ私です。子供の頃に友と童歌を唄いながら遊んだ風景がそこにあり、残していきたい気持ちでシャッターを切りました」と撮影動機を述べられている。農業・農村の現状をお知らせすると同時に後世に記録として残しておく役割を持つ本会誌の表紙として、失われつつある風景をおさめたもうひとつの我が国の農山漁村の実情をお伝えし、記録しておきたいと考え、この写真を使わせていただいた。

（写真提供：（社）地域環境資源センター）